

293 億 1200 万円を計上

●合併特例事業債の活用状況

合併した市町村に特例として認められる合併特例事業債は、18 億 3060 万円を借り入れ、道路整備事業や柳川駅東部土地区画整理事業などの事業に活用する予定です。なお、この合併特例事業債は 70% が地方交付税として交付される有利な地方債です。

緊急時用連絡管整備事業出資金	2000 万円
排水路整備事業	2 億 410 万円
両開漁港機能保全事業	1 億 450 万円
中島漁港漁業団地整備事業	830 万円
道路整備事業	3 億 2050 万円
柳川駅東部土地区画整理事業	3 億 6110 万円
柳川駅周辺地区事業	1 億 1400 万円
柳河・城内地区都市再生整備事業	1140 万円
密集住宅市街地整備事業	5060 万円
筑後地域指令センター庁舎建設事業等負担金	7780 万円
消防施設整備事業	3420 万円
屋内運動場等天井落下防止改修事業	1140 万円
小中学校校舎改築事業	5 億 1270 万円

●地域振興基金の活用状況

柳川、大和、三橋地域振興基金から次の事業に 4 億 5969 万円を活用することにしています。

柳川地域振興基金	
土地開発公社土地取得費	9873 万円
大和地域振興基金	
コミュニティセンター整備事業	1 億 1169 万円
三橋地域振興基金	
コミュニティセンター整備事業	2640 万円
ニッ河小学校校舎改築事業	1 億 1000 万円
中山小学校校舎改築事業	1 億 1000 万円
中山小学校借地購入費	287 万円

次に、歳出について施策の内容ごとに紹介します。歳出は、市が 1 年間に使うお金のことです。

定住促進とおもてなし
5 人の地域おこし協力隊員が柳川の魅力を掘り起こす

定住促進事業を強く推進するため、3 大都市圏や政令指定都市から、地域おこし協力隊員として、昨年雇用した 3 人に加え、新たに 2 人を雇用します。地域おこし協力隊員が、実際柳川に住んで生活や

歳出 おもてなしの心日本一を目指して

活動することで、外からの視線で柳川市の魅力を掘り起こして、移住、定住につなげるための取り組みを行っています。

また、寄付を受けたあめんぼセンターそばの空き家を使った都市住民の居住体験事業や、今後の移住、定住を促進するための検討会議を設置し、新たなアクションプランを策定します。

その他、「おもてなしの心日本一」を目指すための実行組織となる「おもてなし柳川」



▲寄付を受けたあめんぼセンターそばの空き家では、都市住民の居住体験を開始する

市民会議負担金を新たに計上しています。

歳入 市税 61 億 1573 万円を見込む

歳入とは、1 年間に市に入るお金のことです。

市税は、昨年度の収納見込みや税法の改正、現在の景気状況などから、昨年度より 5127 万円多い、61 億 1573 万円を計上しています。

地方消費税交付金は、今年 4 月からの消費税率の引上げに伴い、地方消費税率についても同様に引上げられることから、昨年度より 7500 万円多い 6 億 9000 万円を計上しています。

地方交付税は、標準的な行財政運営に必要な経費を補う

歳入と見込むものは、1 年間に市に入るお金のことです。

市税は、昨年度の収納見込みや税法の改正、現在の景気状況などから、昨年度より 5127 万円多い、61 億 1573 万円を計上しています。

地方消費税交付金は、今年 4 月からの消費税率の引上げに伴い、地方消費税率についても同様に引上げられることから、昨年度より 7500 万円多い 6 億 9000 万円を計上しています。

地方交付税は、標準的な行財政運営に必要な経費を補う

市債は、一時的に多額の経費が必要ときに借り入れる長期的な借金のことで、昨年度より 8 億 520 万円少ない 31 億 280 万円を計上しています。

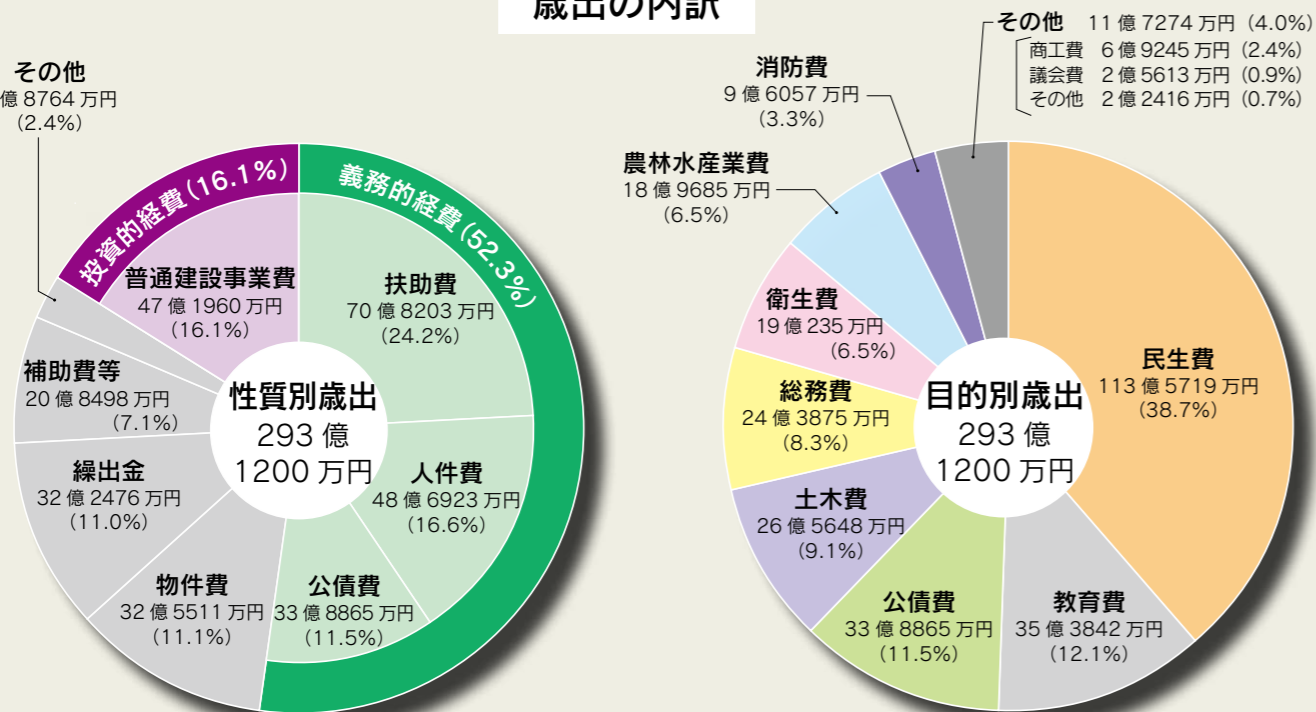
このうち、合併した市町村に限り特例として認められる合併特例事業債は、18 億 3060 万円です。

柳川市の平成 26 年度の一般会計予算が 3 月の市議会定例会で可決、成立しました。予算総額は歳入、歳出いずれも 293 億 1200 万円です。骨格予算として編成した昨年度当初予算に比べて 11 億 8500 万円、率にして 4.2% の増加、肉付け予算として編成した 6 月補正後予算と比べて 12 億 4134 万円、率にして 4.1% の減少となりました。

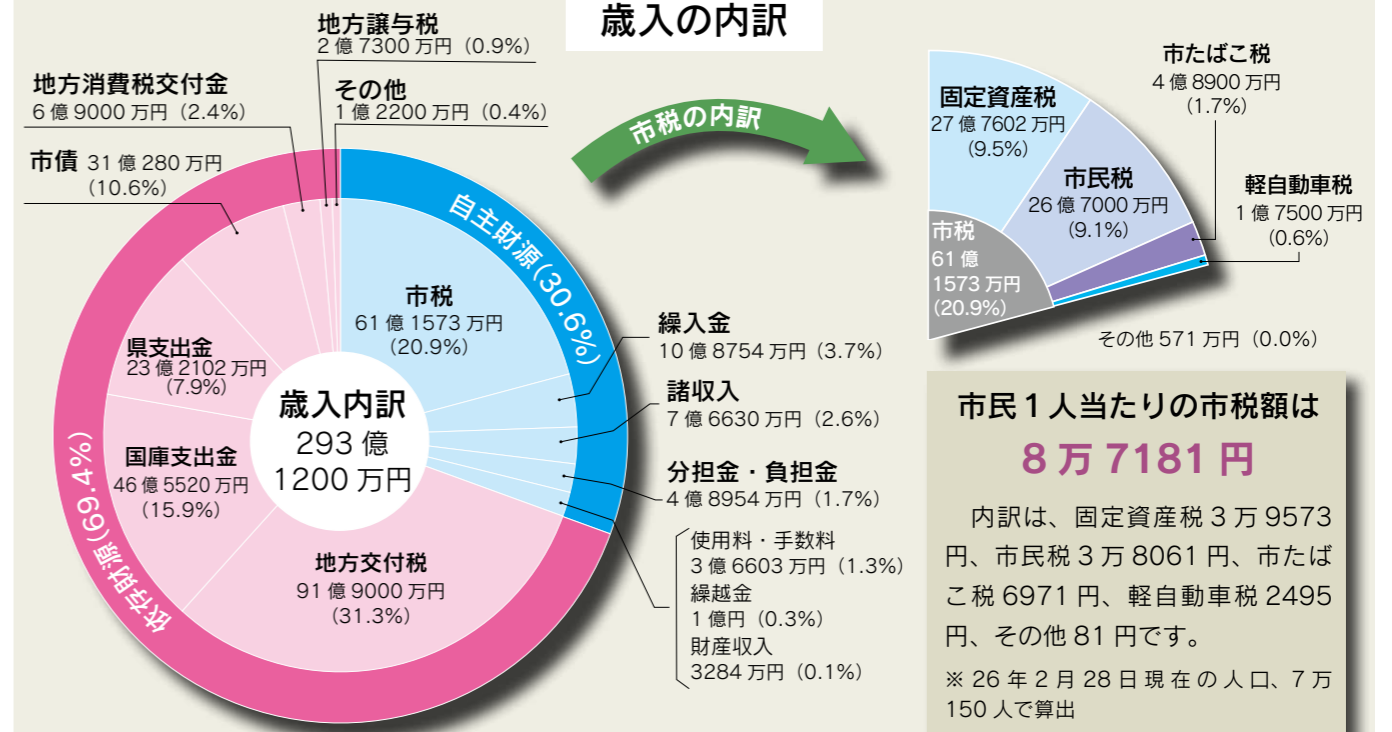
問い合わせは、市財政課（柳川庁舎 77・8432）まで。

【注】昨年度当初予算は市長選挙のため、骨格予算として編成したもので、本文中の予算比較は、昨年度の肉付け予算（6 月補正）までの合計で行っています。

歳出の内訳



歳入の内訳



特別会計は特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計とは区別して経理する会計です。市には5つの特別会計と水道事業会計があります。それぞれの会計の歳入、歳出予算額（1万円未満四捨五入）は次のとおりです。

■国民健康保険特別会計 94億4000万円

国民健康保険特別会計は、自営業者や農漁業者など、国民健康保険加入者の医療費を支払う会計です。主な歳入は、国民健康保険税18億7675万円、国庫支出金27億1595万円。主な歳出は、医療、出産育児一時金などの保険給付金63億729万円、後期高齢者支援金等10億8426万円、共同事業拠出金13億490万円です。

■後期高齢者医療特別会計 9億9000万円

75歳以上の高齢者の医療費の支払いは、県内の全市町村で運営している県後期高齢者医療広域連合で行っています。主な歳入は、保険料6億4373万円、一般会計からの繰入金3億3964万円です。主な歳出は、同連合に支払う納付金9億6013万円です。

■下水道事業特別会計 11億7335万円

主な歳入は、利用者からの使用料1億4100万円、一般会計からの繰入金5億1000万円、市債3億1140万円。主な歳出は、事業費や維持管理費を含む下水道費6億4844万円、公債費4億8822万円です。

■住宅新築資金等特別会計 67万円

住宅新築資金等の貸付事業はすでに終了しているため、現在は貸付金を回収するための事務や、事業を行うために借りていたお金を返すための事務を行っています。

■公共用地先行取得等特別会計 0.5万円

公共用地先行取得等特別会計は、公共事業を円滑に進めるため、用地を先行取得するときに活用する会計です。活用に備えて歳入、歳出とも5000円だけを計上する、科目開設のための予算です。

■水道事業会計（企業会計）

収益的収入15億5112万円、支出14億4310万円
資本的収入3億1900万円、支出5億9244万円
水道事業会計は収益的収入、支出と資本的収入、支出の2通りの予算が組まれます。収益的収入の主なものは水道料12億8315万円で、主な収益的支出は県南水道企業団から水を買うための費用4億6282万円、人件費8186万円があります。資本的収入の主なものは、事業を行うために借り入れる企業債2億1000万円。主な支出として配水管の取り換えに要する工事費など3億8180万円、企業債の償還金1億9564万円があります。



▲整備が進む西鉄柳川駅東側。来年3月には自由通路や駅前広場が完成する予定

で、中心市街地の活性化を図ろうと、柳河・城内地区都市再生整備事業を新たに計上しています。

さらに昨年度に用地取得を行った、市営住宅東宮永団地（仮称）建設事業については、今年度からの2年間で整備を行います。

事業費、がん検診事業費をはじめとした健康増進事業費、環境対策費、塵芥処理費などを計上しています。

なお、柳川市・みやま市一般廃棄物処理施設整備事業は、周辺道路の測量設計を行うこととしています。

また、高齢者のみの世帯や高齢者の一人世帯などで市が認定を行った対象者に、ごみの訪問収集と安否確認を行う福祉収集事業に新たに組み込むことにしています。

平成26年度の主な事業

※太字は新規事業

■産業の振興

▷活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金7801万円▷水田農業担い手機械導入支援事業費補助金2377万円▷青年就農給付金1350万円▷農地・水保全対策事業費2324万円▷**頑張る農業応援事業費332万円**▷沖端漁協海苔網冷凍庫機械施設改修事業補助金950万円▷浜武漁協海水運搬船機関換装整備事業補助金213万円▷両開漁港機能保全事業費2億1000万円▷中小企業者等融資預託金4億円▷消費生活センター事業費689万円▷未来のために頑張る商店街応援事業補助金500万円▷ブランド推進事業費1288万円

■教育・福祉の充実

▷屋内運動場等天井落下防止改修事業費1200万円▷ニッ河小学校校舎

産業の振興
頑張る農業応援事業で農業を振興
農業関係では、各種農業施設、機械設備への補助、い業・園芸作物などの農業振興のための経費の他、今年度から、集落営農組織法人化の推進や新規振興作物の研究を行う頑張る農業応援事業に取り組むことにしています。

水産業関係では、中島漁港漁業団地整備費や、各漁協などが実施する施設整備などへの補助金の他、両開漁港機能保全事業費についても引き続き事業費を計上しています。

教育・福祉の充実
学校やコミュニティセンターを着実に整備
学校教育関係では、大和中学校運動場の整備費用、ニッ河小学校と中山小学校の校舎改築事業にかかる費用などを計上しています。

生涯学習関係では、大和・三橋地域のコミュニティセンターの整備で、豊原・皿垣・有明校区の建設工事費や、藤吉校区の建設に向けた設計業務、造成工事に係る経費などを計上しています。



▲完成した大和コミュニティセンター。今年度は、豊原、皿垣、有明、藤吉校区の整備を実施

を計上しています。

その他、北原白秋生誕130周年を記念する白秋サミット開催に向けた実行委員会への負担金を新たに計上するとともに、市民文化会館（仮称）建設については、基本計画を策定し、施設の規模や機能を具体化していきます。

福祉関係では、新たな事業として認知症施策総合推進事業や、ボランティアとして活動する高齢者を養成する介護支援ボランティア事業、昨年度国の補正予算に計上された臨時福祉給付金給付事業費や子育て世帯臨時特例給付金給付事業費を計上しています。

また子育て支援関係では、今年度から開設される有明、



▲市は子育てへの各種支援を実施（写真は10か月児健診）。今年度は入院の助成対象を中学生まで拡大

大和、中山の学童保育の予算を新たに計上しています。

他に乳幼児医療費では、10月から所得制限を撤廃するとともに、入院の助成対象を中学校卒業までに拡大します。

社会基盤の整備
柳川駅周辺整備と中心市街地の活性化
生活基盤道路の整備費、西鉄柳川駅東部土地区画整理事業費、柳川駅周辺地区事業費、塩塚川高潮対策番所橋架替事業費、中島地区の密集住宅市街地整備事業費などを、引き続き計上しています。

また、遊歩道の再整備やサインの整備など、まち歩き観光の取り組みを進めること

改築事業費3億8288万円▷中山小学校校舎改築事業費4億248万円▷**市民文化会館（仮称）基本計画策定事業費767万円**▷コミュニティセンター建設事業費3億3998万円▷**北原白秋サミット実行委員会負担金300万円**▷**認知症施策総合推進事業費387万円**▷後期高齢者医療事業費12億6083万円▷**介護支援ボランティア事業費100万円**▷**臨時福祉給付金給付事業費3億6078万円**▷保育所運営等事業費19億4639万円▷児童手当11億4953万円▷**子育て世帯臨時特例給付金給付事業費8773万円**▷生活保護費（扶助費）17億1000万円

■社会基盤の整備

▷高田町永松開線道路整備事業費5855万円▷高橋中牟田線道路整備事業費1億560万円▷塩塚川高潮

対策番所橋架替事業費9841万円▷公共下水道繰入金5億1000万円▷柳川駅東部土地区画整理事業費5億1568万円▷柳川駅周辺地区事業費1億2030万円▷密集住宅市街地整備事業費8932万円▷**柳河・城内地区都市再生整備事業費2510万円**▷東宮永団地（仮称）建設事業費2億9607万円▷**太陽光発電設備設置事業費3883万円**

■健康づくり・生活環境の保全

▷妊婦健康診査事業費5084万円▷未熟児養育医療費302万円▷予防接種事業費2億283万円▷健康診査がん検診事業費4371万円▷がん検診推進事業費3283万円▷小型合併処理浄化槽設置事業補助金1億6918万円▷住宅用太陽光発電システム設置事業補助金2000万円▷柳川市・みやま市一般廃棄物処理施設整備事

業費4269万円▷クリーンセンター維持補修工事費1億4000万円▷**福祉収集費392万円**▷大川柳川衛生組合負担金1億5234万円

■その他

▷地域おこし協力隊1722万円▷マイホーム取得支援事業補助金700万円▷新婚世帯家賃支援事業補助金1350万円▷合併10周年記念事業費690万円▷市議会議員選挙費4687万円▷福岡県知事・県議会議員一般選挙費1205万円▷水郷柳川おもてなし文化創造事業費833万円▷**交通誘導及び案内対応に関する人材育成事業費1575万円**▷“おもてなし柳川”市民会議負担金430万円▷救急自動車・消防自動車購入費5100万円▷防災行政無線個別受信機設置補助金200万円▷土地開発公社保有土地取得費9879万円